

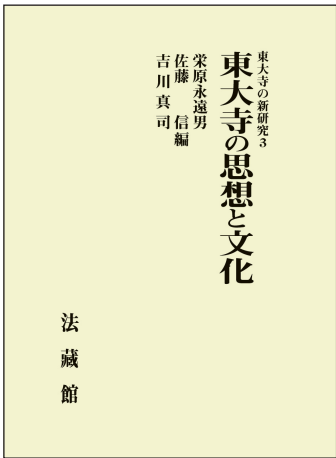
東大寺の思想と文化

東大寺の新研究3

さかえはら とわお さとう まこと よしかわ しんじ
栄原永遠男、佐藤 信、吉川真司 編

▼A5判上製函入・六四〇頁
本体 一七、〇〇〇円十税

2018年6月刊行



東大寺要録研究会で報告された、東大寺に関する最新研究を収録する論文集の最終巻。第三巻は、東大寺で育まれた思想と文化について儀礼・建築・教学など多様な視点から検討。

【目次】

序 (吉川真司)

第一部 東大寺と華嚴学

大仏建立前後の文献に見える忠孝と仏教の関係(石井公成)
奈良時代における華嚴教学の展開と『大乘起信論同異略集』 (中西俊英)

日本古代における『大般若経』の受容 (蓑輪顕量)

東大寺戒壇の「塔」 (大谷由香)

東大寺再興期の華嚴論議

—尊玄の断惑義・浄土義解釈を中心に— (野呂靖)

第二部 東大寺の諸像と絵画

創建期東大寺大仏殿内所懸大「織成」像再論(山岸公基)
奈良時代東大寺における「天」の意義と造形(長岡龍作)
白銀の転生—銀仏の造像と銀器の転用— (児島大輔)
東大寺の鎌倉再興における僧形八幡神坐像造立の意義
—蓮華座の構造を手がかりに— (山口隆介)

第三部 東大寺の建築

東大寺食堂にみる古代食堂の建築的展開について(海野聡)
造営における先規・旧規を守る意識について(山岸常人)
鎌倉再建東大寺大仏殿の評価をめぐる一考察(富島義幸)

第四部 諸文献と東大寺

盧舎那如来と法王道鏡—仏教からみた統治権の正当性— (堀 裕)
正倉院文書から見た奈良時代の悔過 (栄原永遠男)
『東大寺要録』にみる本願聖武天皇とその文書(佐藤信)

平安時代における東大寺の教学と法会

『東大寺要録』の撰述目的と撰者 (永村眞)

『東大寺統要録』と聖守 (遠藤基郎)

訓点資料研究の一側面 (横内裕人)

—東大寺関係資料を手懸かりとして— (宇都宮啓吾)

あとがき (栄原永遠男)

執筆者紹介

◆著者略歴(二〇一八年三月三十一日時点)

栄原永遠男(さかえはら とわお)

一九四六年生まれ。専攻は日本古代史、正倉院文書。東大寺史研究所所長、東大寺学術顧問、大阪歴史博物館館長。主な著書に『正倉院文書入門』(角川学芸出版、二〇一一年)がある。

佐藤 信(さとう まこと)

一九五二年生まれ。専攻は日本古代史。東京大学大学院人文社会系研究科教授。主な著書に『日本古代の宮都と木簡』(吉川弘文館、一九九七年)がある。

吉川真司(よしかわ しんじ)

一九六〇年生まれ。専攻は日本古代史。京都大学大学院文学研究科教授。主な著書に『律令官僚制の研究』(塙書房、一九九八年)がある。

注文書	
(書店印)	
様冊	ご担当
法藏館	栄原永遠男、佐藤 信、吉川真司 編
本体 一七、〇〇〇円十税	東大寺の思想と文化
	東大寺の新研究3
ISBN: 978-4-8318-6023-1 C3021	
住所	お名前
	お電話

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・日本史・思想史